

東日本大震災からの一日も早い中心市街地の復興に向け石巻市「かわまち」では、今も槌音が盛んに鳴り響いています。

この度のプロジェクトでは、川を活かした街づくりに共調するよう単に施設を設計するのではなく、人と街、モノとコト、場所と空間などさまざまな次元でのつながりを生む施設として計画に取り組みました。

計画用地の状況や他の工事との取り扱いなど刻々と状況が変更される中、無事竣工を迎えることが出来ました。竣工に至る過程で、ご助言を頂きました多くの方に、この場を借りてお礼申し上げます。



Always with a SMILE!

2018
11月号

Vol.164

KUJI ARCHITECTS NETWORK <http://www.kuji-act.com/>

株式会社 久慈設計 お客様ご案内窓口 TEL.019-624-0240

本店 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL.019-624-2020 / FAX.019-622-7720
[岩手県知事登録第1(2207)5号]

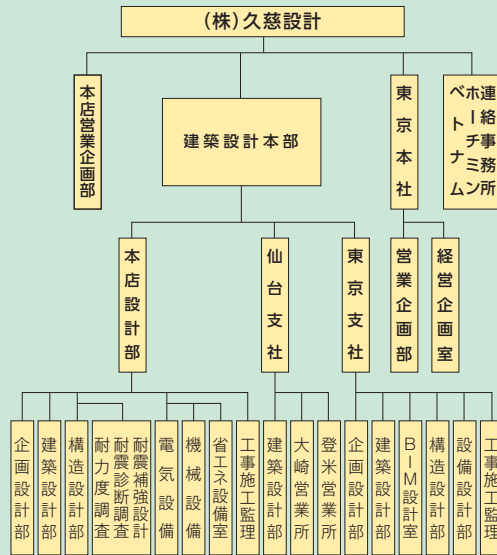
東京本社 東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階
TEL.03-6682-4111
FAX.03-6682-4070 / FAX.03-6682-4071
[東京都知事登録第54196号]

仙台支社 宮城県仙台市青葉区八幡五丁目3-11
久慈設計仙台ビル
TEL.022-727-8780 / FAX.022-718-1388
[宮城県知事登録第17510025号]

大崎営業所 宮城県大崎市古川小泉字大小441-1
エクセレント ファム102号
TEL.0229-24-5020 / FAX.0229-24-5029

登米営業所 宮城県登米市迫町北方字山ノ上35-4-103号
TEL.0220-21-5633 / FAX.0220-21-5644

ベトナムホーチミン 連絡事務所 Mac Dinh Chi Street, Da Kao Ward, Dist.1,HCMC



株式会社 久慈設計東日本

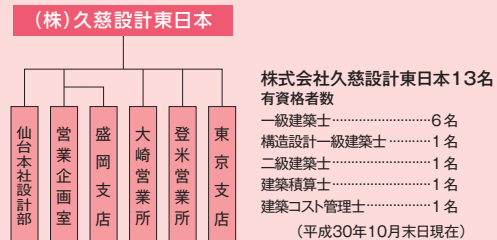
本店 宮城県仙台市青葉区八幡五丁目3-11
久慈設計仙台ビル
TEL.022-727-8780 / FAX.022-727-8781
[宮城県知事登録第15610059号]

大崎営業所 宮城県大崎市古川小泉字大小441-1
エクセレント ファム102号

登米営業所 宮城県登米市迫町北方字山ノ上35-4-103号

盛岡支店 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL.019-604-8205 / FAX.019-604-8206
[岩手県知事登録第1(1902)第1346号]

東京支店 東京都板橋区連根一丁目16-9
TEL.03-6789-3992 / FAX.03-6789-3992



株式会社 久慈設計管財 本店 東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階

(一社)公共建築協会会員 (公社)日本建築家協会会員 (一社)文教施設協会専門会員 (公社)日本建築士会連合会会員
(一社)日本建築士事務所協会会員 (一社)日本医療福祉建築協会会員 (公社)日本建築積算協会会員 (一社)日本コンストラクション・マネジメント協会会員

食と人との交流

特集 宮城県石巻市 かわまち交流センター



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 (一級建築士事務所)

KUJI HIGASHINIHON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計東日本 (一級建築士事務所)



宮城県石巻市 かわまち交流センター

施工地／宮城県石巻市中央二丁目
竣工年月／平成30年8月
敷地面積／774.76㎡
延床面積／747.14㎡
構造／鉄骨造 2階建て

人と川をつなぐ交流拠点

宮城県沿岸東部に位置する石巻市は、沖合に親潮と黒潮が交差する豊かな水産資源に恵まれた世界三大漁場「三陸・金華山沖漁場」を有する水産都市であります。三陸沿岸から連なるリアス式海岸は非常に豊富な種類の魚介類が生息し、かきや帆立など繁殖漁業も盛んな地域であります。

「石巻市の豊かな食材を通じた人と人との交流」をコンセプトとし地域一帯の再開発が行われている「かわまち交流拠点」は、地域の魅力であった街中心部と港とを繋ぐ一級河川旧北上川の美しい景観に人々が集った「川湊」を再現し、歴史が薫る「川辺のまち」として街が活性化し、豊かな市民生活が紡がれていく場となるよう、川や堤防、周辺施設が関連付けられながら一体的に整備されています。本施設は、その一端を担う河川堤防一体型の観光交流拠点として、東北大学大学院工学研究科小野田泰明教授の監修のもと誕生いたしました。

配置図・平面図



みんなが集える「街中リビング」

人々の集いを生み、気軽にご利用いただける「街中リビング」となるよう施設前の歩行空間沿いや北広場側は透明性を持たせた外観とし外と中の空間の連続性を持たせました。施設内部は開放的な吹き抜けを介した立体的な空間構成とし、また、木の温かみが随所に感じられるしつらえによりくつろげる環境を目指しました。夜間には館内の光が外部へと溢れだし、街中をやさしく照らし出します。

施設の正面玄関から2階へと続く大階段は、施設内部の様々な市民交流が色々な高さで目に届くデザインとしながら、川辺の美しい景観が一望できる堤防レベルまで訪れた方を自然な流れで誘導できる設計としました。

市民や観光客の方々が行き来し、「食」を学ぶ、語る、創る場としてのキッチンスペースも整備し、隣接する「いしのまき元気いちば」などとの機能補完をしながら、「食」を通じた交流を生み出す地域一帯のコミュニティと観光拠点となる場として計画致しました。

また子どもから高齢者まで気軽に利用できるよう、床の段差の解消や、授乳室、多機能トイレを設ける設計としております。



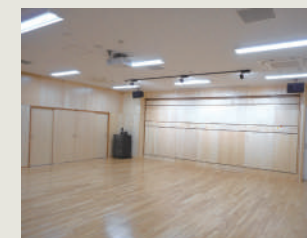
印象的な吊り照明



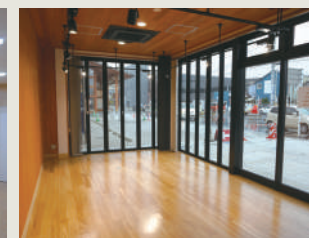
小ライブラリーから広がるサロンスペース



キッチンスペース



市民交流ホール



市民交流スペース



旧北上川の景観を一望できる屋上テラス（白いドームが石ノ森萬画館）



訪れた方を川の見える2階へ誘導する大階段